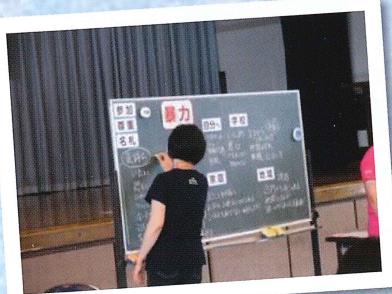


2020.02.28発行

第12号

# お母さんだより

## 会津若松市の活動



### 会津若松市での今年度の活動を紹介します

今年度の会津若松市PTA連合会母親部会は、市内32校の小中学校PTAで子どもたちのために積極的に活動されているお母さん方、123名の会員登録があり、ワークショップを中心に情報交換し、研修活動を実施しました。

①7月2日（火）講話

「笑いと健康について～あなたが笑えば福きたる～」

講師 斎藤 成子 先生 他3名（千成笑いヨガクラブ）

② 8月28日（水）ワークショップ

「エンパワメントの言葉のGIFT」

～子どもの人権教育プログラム・おとなワークショップ～

講師 田中 明子氏 他2名（あいづCAP）

③10月1日（火）講話

「地域活性化事業と小中学校の連携・湊地区の取組み事例」

講師 横倉 長政 氏（はら笑楽交）・地域伝統食の試食付き

④11月12日（火）

「心と呼吸を整える香りのワークショップ」

講師 井上 恵美氏 他1名（My Earthアロマテラピスト）

様々な情報があふれ、子どもたちを取り巻く環境の変化も大きく、問題も多くある中、正しい情報を得て、一喜一憂せずに判断できる親でありたい。そのためにも、親の心を整えることも大切だと考え実施した内容です。子どもたちは日々たくさんのことを学び、体験し、悩みながらも心も一緒に成長しています。

私たち親はいつでも子どもの味方であり安心できる存在でありたい。特にお母さんの明るい笑顔や言葉は子どもに伝染します。子どもの表情、言葉に耳をかたむけること。深呼吸をして発する言葉を大切にすること。たくさんの大人の温かい応援が子育てには必要なことなど研修活動を通して学びました。

母親部会は学ぶだけでなく、交流の場として子育ての悩みや情報の共有ができる重要な役割を担っています。親同士がつながることで大きな力を得て安心して子どもに向き合いサポートできると思うからです。今後も、母親ならではの視点で活発な研修活動を行っていきたいと考えております。

会津ブロック母親代表理事

渡邊みゆき



## 第25回母親代表懇談会 講師は平出美穂子先生



今年度の福島県PTA連合会都市P連「母親代表者懇談会」は令和元年9月20日（金）に福島県農業総合センターにて開催されました。

【第1部】講話：心身ともに健康になる食事

講師 平出 美穂子 先生

福島の食文化研究家の平出先生から、毎日の食事が子どもたちの心と体を作っていること、栄養素別の摂取のポイント、食事における礼儀作法の大切さなどを聞きすることができました。また市販品に頼ることの多いスポーツドリンクを自分たちでも美味しい作れるレシピは、参加したみなさんからぜひ実践していきたいとの声がたくさん聞かれました。

【第2部】グループワーク：「食生活をもう一度見直そう！」

午後からのグループワークではお互いの食生活の悩みや解決策などを話し合い、たくさんの素晴らしい意見が出ていました。特に朝食の準備や摂らせ方、偏食など参加者同士で同じ悩みを持っていることを知り、励まされたり励ました。講師の平出先生からアドバイスをいただきながら、和気あいあいとした雰囲気でコミュニケーションを図ることができ

ました。最後にはグループ発表も行き意見を共有しあうことができました。参加した方々からは「自分で解決できなかった悩みが少なくなりました」「子どもが朝食をしっかり食べるようにしたい」「単Pでも食育について話し合いたい」「他地区の方と交流できて良かった」などの声が聞かれました。

ひとりでは解決できないことも、誰かの力を借りることで解決への糸口が見えてきます。今後もこのような形で親同士の交流の場をつくっていけたらと考えています。

県北ブロック母親代表理事 大須賀 祐香



# お母さんだより

## 日本PTA東北ブロック研究大会「南陽・東置賜大会」にパネリストで参加しました

令和元年9月7日(土)~8日(日)、山形県南陽市・東置賜郡高畠町・川西町の各会場で東北大会が開催され、私は、全6分科会の中の、第3分科会「環境教育」のパネリストとして参加しました。

テーマは「ふるさとの継承」。深刻な少子化により、地域との関わりが薄れていく現状の中で、地域に根づく伝統・文化を次の世代に継承しふるさとを未来につなげるためのPTAの役割について考えるというものでした。

私は、須賀川市立第三小学校の恒例行事である「バザー」と、須賀川市立第三中学校が参加する日本三大火祭り「松明(たいまつ)あかし」の紹介をしながら、PTAの関わり方について事例発表をしました。少子化による生徒数の減少は現実の課題となり、これまでどおりの活動ができないくなってきた今、どうすればよいのか、よく検討し合い、工夫や見直しをしながら子どもたちのために伝統や文化を残していく必要があります。

そのためには、日頃から保護者・先生・地域の方々とのコミュニケーションが必要です。そして何より、親(大人)がPTA活動を嫌々やって子どもが楽しいはずはありません。親も楽しく活動することが子どもにも良い影響を与え、次世代へつながっていくものではないでしょうか。

「また来年もやりたいね」なんて言い合えたら素敵ですね。ふるさとは「心のよりどころ」でもあると思います。

私たち大人が受けた恩恵を子どもたちにも伝え、残していきたい。ひとり一人の力は小さくても、PTAが協力すればできることもあるはずです。

会場からたくさん意見や質問がだされました。その



東北大会のバトンは会津若松市へ

中でも、学校の先生からの「学校とPTAの線引きはどこだと思うか」という質問は、まさに全国的に課題になっている“働き方改革”ですよね。PTAですから、先生と保護者で何をどこまでやるかをきちんと整理して、どちらかがやるではなく、協働で進めていくものだと考えています。

さて、「高畠文化ホールまほら」という大きな会場で話すことはとても勇気がいましたが、前方の席で福島県の皆さんから応援していただきとても安心しました。ありがとうございました。そして、第4分科会「組織運営」の会場(高畠中)では、スパリゾートハワイアンズを有するいわき市湯本地区の箱崎洋一県PTA連合会副会長が、アロハシャツを着てパネリストとして参加されました。一緒に福島県を代表して参加できたことを誇りに思います。

さて、令和2年の東北大会は  
会津若松市！！

PTAの力を結集して、心に残る東北大会になるよう応援します！

県中・南ブロック母親代表理事  
松谷 恵理子



## いわき市の活動～大人の背中を通して子どもに伝えたいこと～

いわき市母親委員会は子育てに関する研修の場として市PTA連絡協議会の研修部に位置づけられています。主な活動は年2回の「運営委員研修セミナー」と毎年7月に市内各小中学校の保護者が集って開催される「母親リーダーセミナー」です。また、市内7地区にて「方部会」も開催されています。

令和元年度の研修テーマ…

「親が変われば子は変わる」～みんなで子育てを語りましょう～

◆6月21日(金) 第1回研修セミナー(中央台公民館) 参加者51名  
講話「家庭のあり方」

講師 波立 真一先生 (いわき市連P研修部長・長倉小学校長)

◆7月6日(土) 母親リーダーセミナー(いわき市中央台公民館)

講話「思春期講座Ⅱ」 参加者202名

講師 東京医療保健大学医療保健学部看護学科教授 渡會 瞳子先生

◆2月12日(水) 第2回研修セミナー(小名浜公民館) 参加者50名

講話「PTAのあり方と男親目線の子育て」

～大人の背中を通して子どもに伝えたいこと～

講師 箱崎 洋一氏 (いわき市PTA連絡協議会会長)

今年度はいわき市内小中学校のPTA202名の参加を得て「思春期講座Ⅱ」と題して講演会を開催しました。昨年度大好評だったこともあり、会場が満席の状態での開催となりました。

\*性教育とは生きるための心の教育であり、生まれた瞬間から始めるこ

とが大事！親の愛情を受けて育つと自他の命を大切にし、相手を思いやる心が育つ。それが性感染症や人工妊娠中絶の抑止になる。

\*急にイライラする……正常！ 友達に意地悪したくなる……正常！

親と話したくない…正常！「〇〇パパア！」と言われた…おめでとう！思春期はあって当たり前。症状がみられたら「はいはい、思春期ね～正常！正常！」を合言葉にみんなで上手に付き合おう。これらの先生のお話に家庭における性教育のあり方や思春期を迎えた子どもとの向き合い方に悩んでいた参加者の表情も明るくなり、「心に響いた」「子育てを頑張りたいと思った」等の感想をいただき、有意義な研修であったことを嬉しく思いました。

今後も、母親委員会のネットワークを活かしながら子育ての悩みや情報を共有し、有意義な研修活動を広めていきたいと思います。

浜ブロック母親代表理事 大泉 きよみ

